



《カットマンを思う》

太田 誠一

最近、プライベート・仕事と慌ただしく時が過ぎます。卓球に関しては若い男子カットマンが少なく、時勢で仕方ないですが、定年が近づいている自分には、余計に寂しさを感じる今日この頃です。しかし、希望を感じる事もありました。昨年全日本6回戦、カットマン御内選手と張本選手の試合。フルセットで御内選手負けたけど、6セット目あと一本まで追い込みました。いい試合を見ると、「頑張るぞ」と励みになります。

さて、ちょっと雑学です。現代卓球のカットマン三段論法って知ってますか？
カットマンやりたい人いたら教えてあげて下さい。
(1)1、2球目↓サーブ・レシーブ
ア台上プレーで先手を取る
(2)3、4球目↓攻撃・変化カット
3点を取りに行く
(3)上記で取れない時は粘る&反撃
タイミングを探る
この三段論法は、試合の心の持ち方「取る時は短いラリーで簡単に」「取られる時は長いラリーで粘る」がベースです。(1)(2)は取れたらラックが無く、積極的に取りに行くのがミソです。
これはバックボーンに(3)の粘りがあるカットマン論法ですが、他にも応用は私には猫に小判的な話ですが興味を持たったのでご参考まで。

【お知らせ】

○酷暑対策として日曜日の練習時間を13時〜16時とします。(9月上旬まで)
○熱中症に注意し、適度の休憩と水分補給をしましょう。

3年振りのランク戦を終えて

長内 進

6月26日(日)の第113回ランク戦に参加された皆さん、どうもお疲れ様でした。また、入賞された皆さん、おめでとうございます。3年ぶりの開催であるとともに、当日は気温が30℃を超えてコロナよりも熱中症のほうがか心配される中で無事終了できて、まずは事務局としてほおとしています。特に7人の総当たり戦となったCランクは熾烈で過酷な戦いが繰り広げられて大変でした。しかし参加者が23名と少なかつたのは少し残念でした。というのはDランクが人数不足でCランクと統合せざるを得なくなり、Cランクの参加者5人全員がBランクに自動昇格するという異例の結果になってしまったからです。いろいろご意見があるとは思いますが、参加者が少ない場合でも試合数を確保するとともに、ランク間の新陳代謝を活性化させたいという意図をもつてのことですので、ご理解をいただければと思います。

また、ランク戦への価値観が会員によつて異なるのは仕方ないと思えますが、今後是可以するだけ多くの皆さんが参加していただき、試合を楽しみながら切磋琢磨していただければと考えています。次回ランク戦は10月23日(日)開催予定です。よろしくお願ひ致します。

【行事予定】

○ミックスダブルス大会 8月20日(土)
○第2回役員会 9月4日(日)
○第114回ランク戦 10月23日(日)
○秋季市民卓球大会 10月30日(日)

ランク戦優勝&報告

武 雅隆

久々のランク戦でしたがいつ以来だったのでしょうか？今回が第何回なのかすら、よく分かっていない状態ですが...
今回初めてランク戦にて優勝することができ、とても嬉しく思います。思い返すと初めてのランク戦には参考でBランクにいられてもらいましたが、確か松江さんに(曖昧な記憶ですが)見事に負けてしまい、悔しくもCランクからスタートとなりました。長い時間をかけてやっとここまで来れたなあと感じています。



第57回春季市民卓球大会 女子ダブルス

2022.05.22

「市民大会に参加して」
久しぶりの市民大会で準優勝を頂くことができました。少し緊張もありましたが、楽しく試合を進めることができました。とりもなおさず、それは、蜂須賀さんが助けてくれる。と信じていたからです。他方本願な私でこめんなさ。そして蜂須賀さん有難う!!!
次の試合に向けて、一歩また一歩と練習したいと思えます。

實川 光子



ランク戦参加者

2022.06.26



ランク戦上位入賞者

2022.06.26

《試合結果》

○第57回春季市民卓球大会 (2022年5月22日)
一般女子ダブルス
準優勝 蜂須賀・實川組

○第113回ランク戦 (2022年6月26日)

Aランク 1位:武(雅)

2位:森下

3位:真新

Bランク 1位:長内

2位:松本(か)

3位:五十嵐

Cランク 1位:松尾

2位:平江

3位:武川

Dランク 1位:武(綾)

2位:中野

3位:中村

○シニアピンポン大会 (7月8日)
ミックスダブルスの部

A 2位:福原・蜂須賀

B 1 3位:宗政・高橋(ワダース)

B 2 優勝:小林・横山(コスモス)

B 3 2位:金子・増田

C 1 優勝:五十嵐・實川

C 2 優勝:鈴木・高井

C 3 優勝:長内・真新

A 優勝:伊藤・菅野(大和田新田)

2位:金子・福原

3位:伊藤・菅野(大和田新田)

女子ダブルスの部

B 3位:宗政・小林

優勝:松江・蜂須賀

ABAB 2位:大林・中根(八千代こまち)

C 1 優勝:高井・増田(コスモス)

C 2 優勝:實川・小池

「夏になった!」 編集部志備録

コロナを忘れかけた頃、感染者増の報道。2週間ほど梅雨明け。九州・山口などで発生した線状降水帯による被害の報道に気象異常を実感する。コロナから命を守ろうと奮闘している医療関係の方々。一方、ロシアのウクライナ侵略により、人が人の命を奪うというあつてはならない悪行、世界のあちこちに感じられる同じような紛争。どうすることもできないけれど、卓球ができる平和な時間に感謝しています。